

# 湯田小学校

活動団体名： 湯田小学校 4年生

活動人数： 64名（教員2名）

取組時間： 総合的な学習の時間

## 調査内容

みずすましの調査活動は、2回行ないました。1回目は、尊野町の飲料水源地から流れ出る用水路へ出かけ水生生物調査を行ないました。子どもたちは、ざるを使って川底や川べりの石や藻などをすくい上げ、バットに入った水生生物を興味深く観察していました。尊野町の川には、サワガニやトビケラがたくさんいました。調査の結果から、尊野町の川は、きれいな水であることがわかりました。2回目は、湯田小学校の理科室で、顕微鏡を使って水生生物の観察をしました。杉山先生が観察当日の朝、調査地である尊野町の川の水を採取してくださいました。まず初めにバットの中にいる小さな生物の様子や動きを肉眼でじっくり観察しました。次に、ゲストティーチャーの杉山先生が丁寧に顕微鏡の使い方や観察のポイントを教えてくださいました。子どもたちは、意欲的に顕微鏡で観察しました。拡大することで新たな水生生物の特徴に気づくことができました。2回の調査活動を通して、地域の美しい川を大切にていきたいという思いをもつことができました。



## 活動の様子

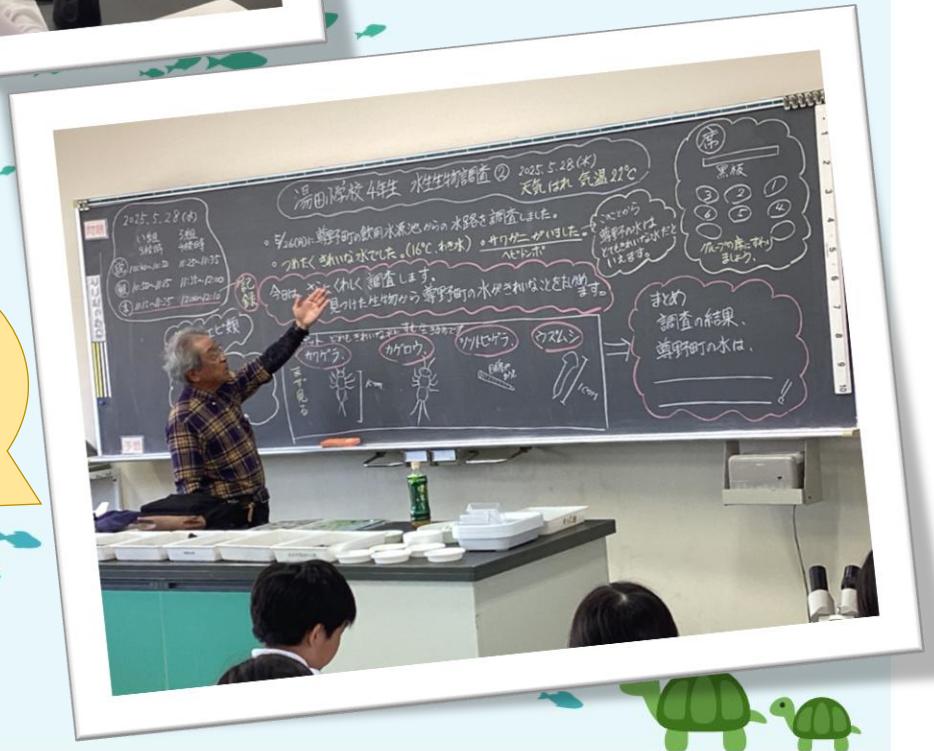
現地調査の説明



## 活動の様子



顕微鏡での観察



# 「みずすまし」調査票

学校名		長浜市立湯田小学校		調査地点 NO.	1
				調査参加人数	64人
<b>指標生物</b> 《見つかった指標生物に○印、数が多かった上位から1種類（または2種類）に●印をつけて下さい》					
I	1 カワゲラ類				
	2 ナガレトビケラ、ヤマトビケラ、クロツツビケラ類				
	3 ヒラタカゲロウ類				
	4 ブユ類				
	5 ヘビトンボ類	○			
	6 ガガンボ類				
	7 サワガニ	●			
II	8 ウズムシ類(プラナリア)				
	9 2以外のトビケラ類	●			
II	10 3, 14以外のカゲロウ類				
	11 ヒラタドロムシ類				
III	12 シジミ類				
	13 カワニナ				
III	14 サホコカゲロウ				
	15 ヒル類				
	16 ミズムシ	○			
IV	17 モノアラガイ				
	18 サカマキガイ				
	19 赤いユスリカ				
IV	20 イトミミズ類				
	21 ハナアブ類				
	水質階級の判定	水質階級	I	II	III
	1. ○印と●印の個数	3	1	1	
	2. ●印の個数	2	1		
	3. 合計(1欄+2欄)	5	2	1	
この地点の水質階級は (合計の最も大きい階級)		I です			

調査地点の概要 《生物を採取した場所の状況について記入して下さい》					
河川名	尊野町飲料水源地				
	生物を採取した場所	尊野町飲料水源地			
上流からみて □ 右岸 ■ 中央 □ 左岸					
昨年度の調査状況	今年の調査地点は昨年度と同じですか？				
	■ 同じ場所で調査した				
調査日時	昨年度の水質階級は				
	■ I □ II □ III □ IV				
調査日時	□ ちがう場所で調査した				
	令和 7年 5月 26日 9時 30分				
開始時刻を24時間で記入して下さい。(午後2時は14時)					
天 气	□ 晴れ	■ くもり	□ 雨		
水 温	16	°C	小数点1桁まで記入して下さい		
気 温	22	°C	小数点1桁まで記入して下さい		
川 幅	1	m	小数点1桁まで記入して下さい		
水 深	25	cm	採取場所の平均的な水深を記入して下さい		
流 速	□ 速い	■ 普通	□ 遅い		
	(60cm/秒以上)	(30cm～60cm/秒)	(30cm/秒以下)		
川底の状態	□ 頭大の石が多い	□ こぶし大の石が多い			
	■ 小石と砂	□ コンクリート			
	■ コケ	□ 砂と泥			
□ 泥	□ その他 ( )				
水のにおい	■ においは感じられない				
	□ においが感じられる(ドブの不快感のあるにおい)				
水のにごり	■ 透明できれい				
	□ 少しにごっている				
	□ にごっている				
	□ 大変にごっている				

その他の生物(水生昆虫、貝、エビ・カニ類)		魚類	
トビケラの幼虫、ヨコエビ、サワガニ			
水草類		鳥類	
		その他、気づいたこと	
水質階級	きれい	II 少し汚れている	III 汚れている
			IV 大変汚れている